

甲府のまちは、500年もの長きにわたり
山梨の政治や経済などの中心として、
発展を続けてまいりました。

2019年には、武田信虎公が
躑躅(つつじ)が崎の地に館を構えてから500年、
2021年には、武田信玄公の生誕から500年を迎えます。

この記念すべき年を迎えるにあたり、
これまで先人たちの知恵と、絶え間ない努力により、
脈々と受け継がれてきた甲府の「歴史」・「伝統」・「文化」・「自然」を、
市民一人ひとりが改めて振り返り、
未来を見つめ、次の世代へ引き継いでいくとともに、
本市を訪れる方々にも、本市の魅力を充分に感じていただけるよう
この節目の年を祝ってまいります。



| ロゴマークの説明 |

甲府のシンボルともいえる武田菱を結び目に見立て、人と人、心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化。5本のラインは「開府500年」を示し、結び合い上方へ伸びゆくフォルムは、過去・現在・未来、多彩な伝統・文化、豊かな自然等を有機的に結びながら「歴史物語都市こうふ」の新たな歴史を築いていくという基本理念の骨子を表現するとともに、甲府の限りない可能性とさらなる発展をシンボライズしています。

| キャッチフレーズの説明 |

豊かな歴史を受け継ぎ、輝く未来をひらく姿をアピール。「絆」に甲府市の輪を連想しました。

| キービジュアル24個の紋章の説明 |

表面に描かれた紋章は、“甲府”にゆかりのあるものがデザインされています。
詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

